

池田謙齋 いけだ けんさい 軍醫。天保十二年十一月一日越後國蒲原郡曲野新田
生れ、大正七年四月二十日歿（八四—一九八）。舊姓入澤、諱秀之、幼
名圭介、桂太郎、通稱北條謙輔、のち謙齋を實名とする。文久二年江
戸の緒方洪庵塾に入門、幕命により長崎に留學。また洪庵の養子とな
り、更に池田を仲の養嗣子となつた。明治二年國費による最初のドイ
ッ留學、歸朝後宮内省出任、十年東京醫學學校校長、東京大學醫學部綜
理に就任、十九年宮内省待醫局長官、二十一年學位令により、橋本綱
常、高木兼寛、三宅秀、大澤謙（こゝ兵）最初の醫學博士となる。二十
年陸軍一等軍醫正。宮中顧問官を務む。男爵。入澤達吉の叔父。

『明治天皇の侍医池田謙齋』（平成三年七月二十一日高崎斐子・安部
恭子・安倍信愛刊）には、ドイツ留學中の「プロイセン」の書籍「
大正八年私家版刊行の入澤達吉編『回顧録』等」を収録。

